

小学校外国語活動と外国語科の接続について

■ 本校3～5年児童を対象に**外国語活動・外国語科に関する意識調査**を実施

3年生：100名 4年生：79名 5年生：100名

- ・令和4年度学習指導要領実施状況調査と同じ質問項目を設定
- ・児童の声を収集するため記述の質問項目を追加
- ・文部科学省作成教材「Let's Try!」に関する質問項目を追加

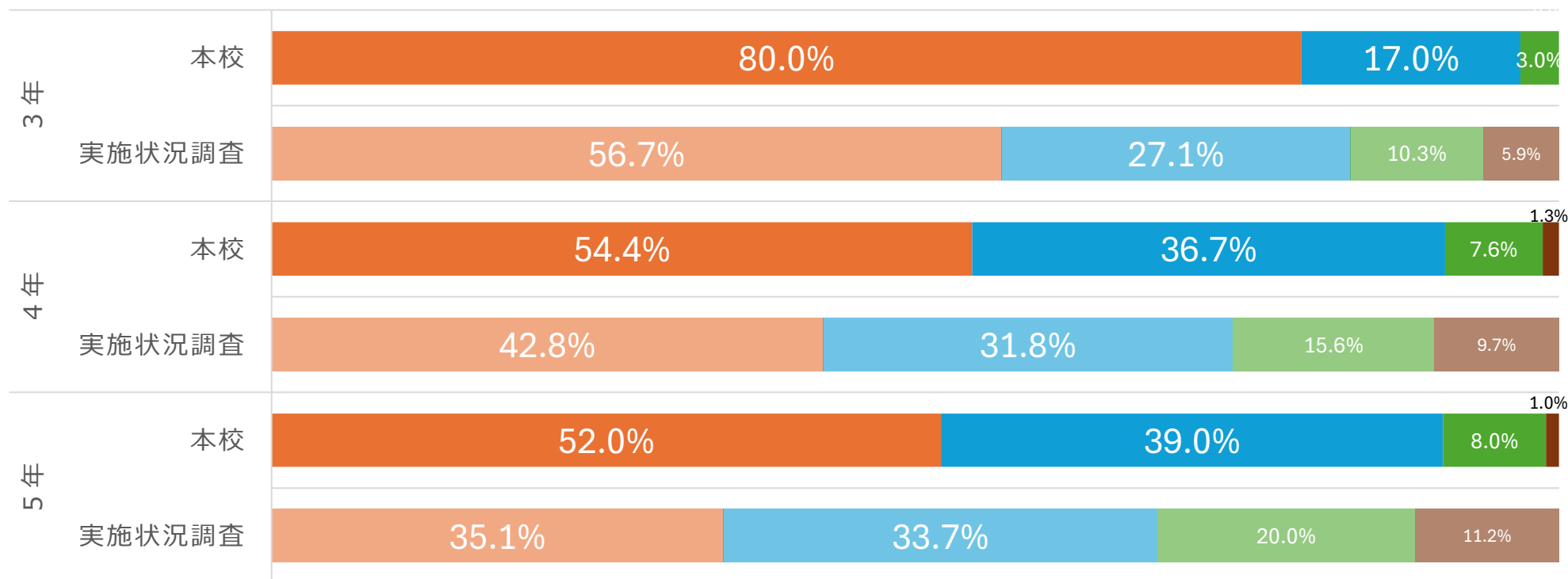
■ 集計結果に基づいて、**外国語活動・外国語科の接続における課題を考察**

令和7年12月1日（月）第4回外国語WG

八戸市立吹上小学校 教頭 日向端 聖

英語の学習が好きだ

■ 思う ■ どちらかと言えば思う ■ どちらかと言えばそう思わない ■ そう思わない



- ◆ 本校でも「学習指導要領実施状況調査」と同様に、3～5年いずれにおいても肯定的回答の割合が多い。
- ◆ 強い肯定（「思う」）の回答は学年を経るごとに減少。
特に、3年→4年の減少幅が大きい。この点の考察は後述。

英語の学習が好きな理由・好きでない理由

英語の学習が好きな理由や好きでない理由を記述で回答。

	好きな理由	好きでない理由
3 年	・<u>みんなのことを知ることができる</u> ・<u>友達の好きなもの、きらいなものを聞くのが好き</u> ・いろんな英語を知ることができる ・歌が好き ・カード並べが楽しい	・言うことがたくさんあって日本にない発音だから
4 年	・<u>いろいろな人とコミュニケーションをとれる</u> ・<u>いつか外国人とコミュニケーションをしたい</u> ・言えない英語が言えるようになったらうれしい ・いろいろな国のことがよく分かる	・あまりとくいじゃないし、わからないところや難しいところがある ・はずかしい ・覚えるのが大変
5 年	・<u>友達の知らなかったことを知ることができる</u> ・<u>あまり話せてない人とコミュニケーションできる</u> ・日本のことを知るのもいいけれど、外国のことを知ることも楽しい ・英語は社会に必要だから	・少し難しい ・ついていけないことがある ・ALTが何を言っているかわからないときがある

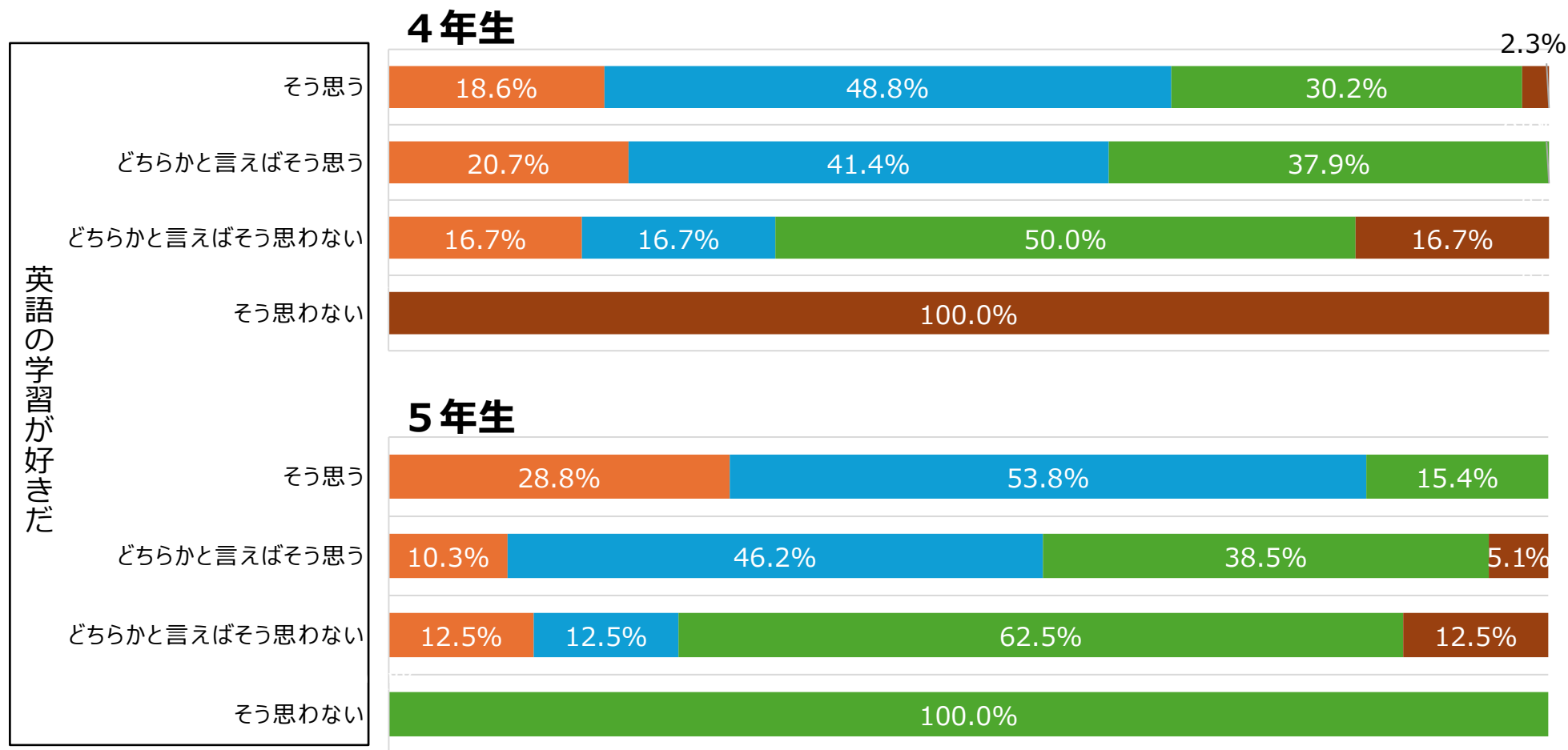
◆好きな理由として『**相互理解**』というコミュニケーションの本質を突いている内容が多い。児童が**外国語学習の「本質的な意義」に迫っている**ことがうかがえる。

➡この本質的な意義を減退させないことが必要

「英語の学習が好きだ」と他質問のクロス集計①

英語の授業がどの程度わかりますか

■ よくわかる ■ だいたいわかる ■ わかることとわからないことが半分ずつくらいある ■ わからないことが多い ■ ほとんどわからない

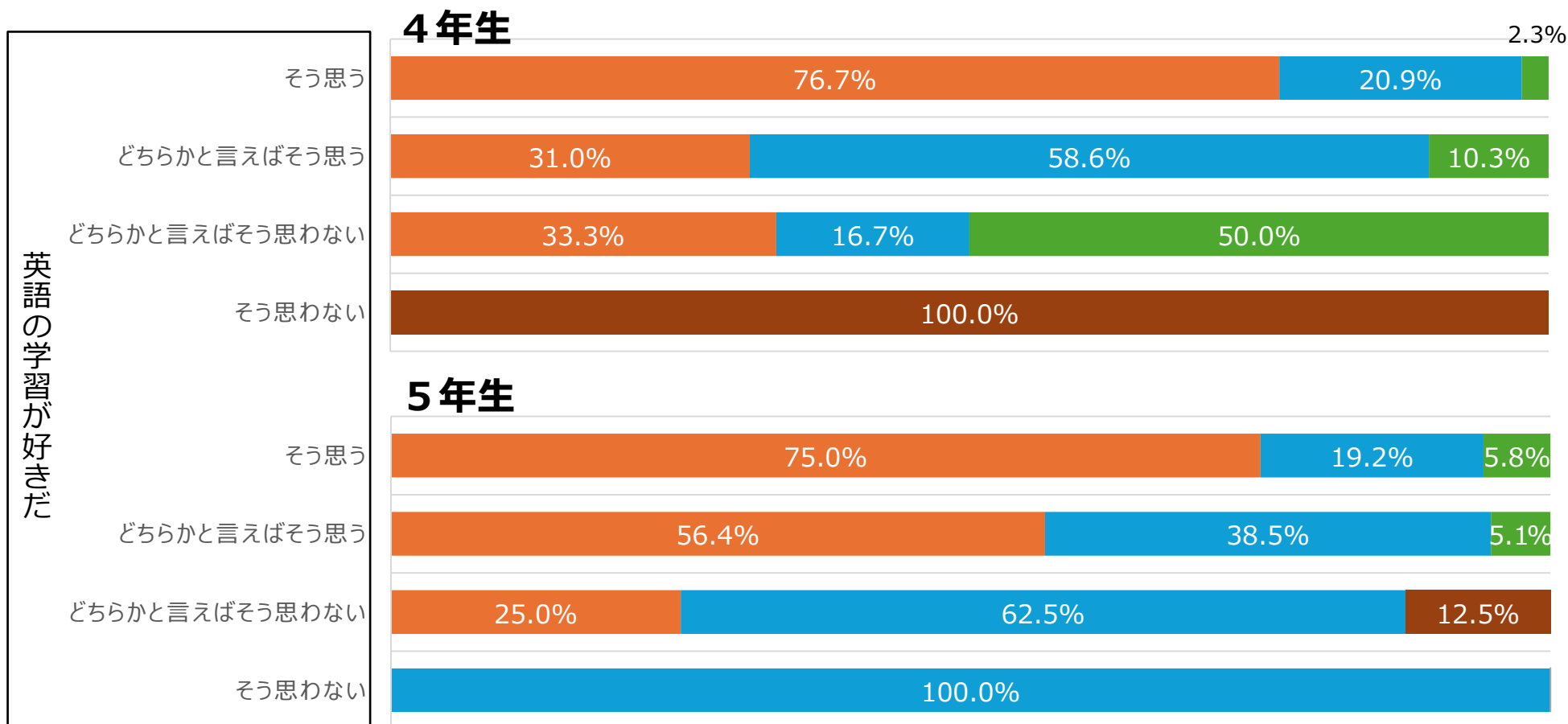


◆「英語の学習が好きだ」について肯定的回答が減少するのは、「わからないこと」が多いと感じることも要因となっている可能性がある。

「英語の学習が好きだ」と他質問のクロス集計②

授業中に「できた！」と思う時がある

■ そう思う ■ どちらかと言えばそう思う ■ どちらかと言えばそう思わない ■ そう思わない

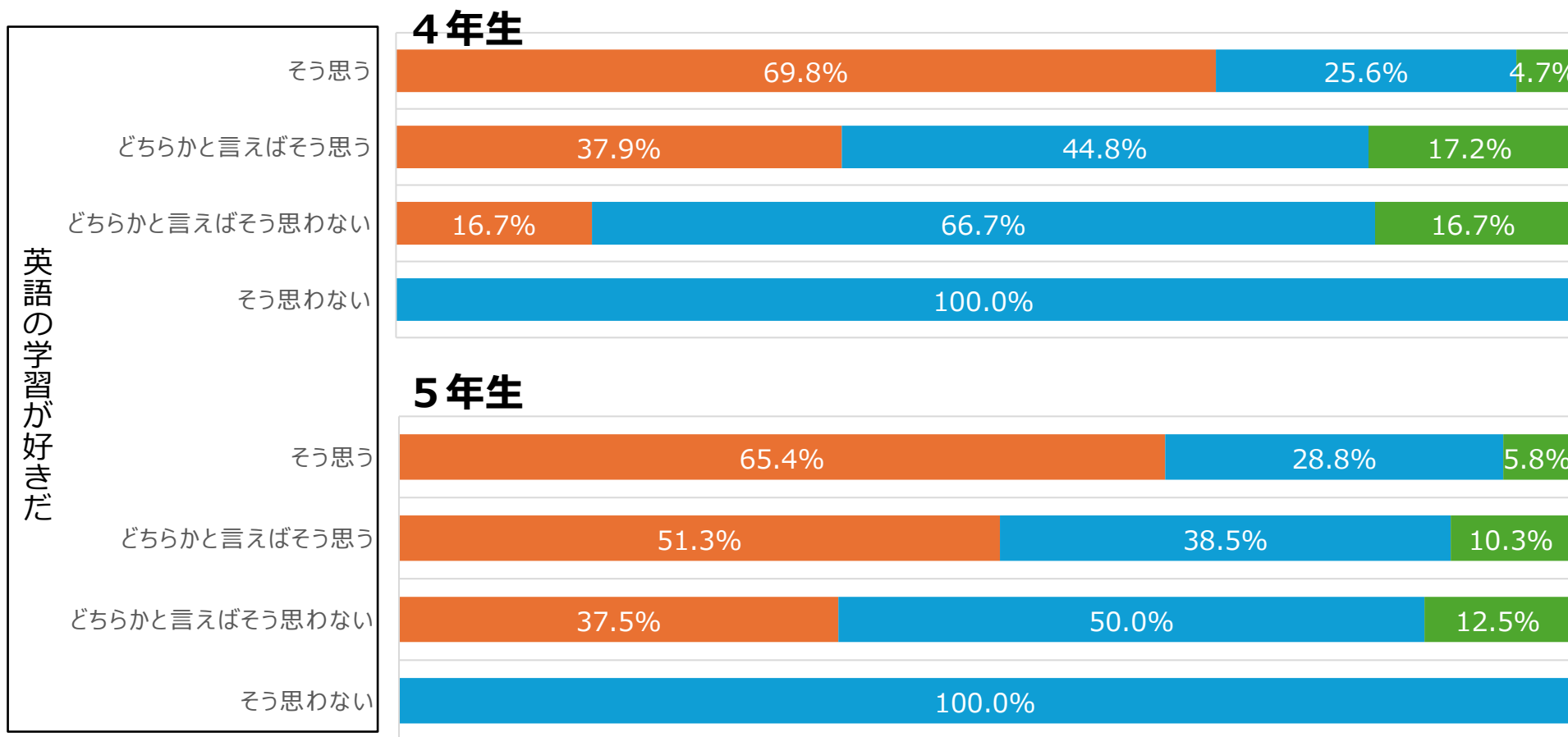


◆ 4年生の「英語の学習が好き」に否定的な回答群に、「できた！と思う時がある」に否定的な回答が見られる。5年生は比較的少ない。

「英語の学習が好きだ」と他質問のクロス集計③

まちがえてもチャレンジしている

■ そう思う ■ どちらかと言えばそう思う ■ どちらかと言えばそう思わない ■ そう思わない



◆クロス集計②③より、「英語の学習が好きだ」という気持ちは、自己効力感や心理的安全性なども関係していると推察される。

文部科学省作成教材「Let's Try!」について

英語の授業で使っている教材（Let's Try! 1・2）について、「楽しい（楽しかった）」「まあまあ楽しい（まあまあ楽しかった）」「あまり楽しくない（あまり楽しくなかった）」「楽しくない（楽しくなかった）」を選択

➡全ての単元で肯定的回答（「楽しい」「まあまあ楽しい」）が多い。肯定的回答のうち、強い肯定（「楽しい」）のみの割合を比較すると、単元によって差異が見られる。

★強い肯定が比較的多い（「楽しい」が各学年50%以上）

☆強い肯定が比較的少ない（「楽しい」が50%を下回る学年がある）

Let's Try! 1（3年生）	Let's Try! 2（4年生）
★Unit1 世界のあいさつを知り、英語で名前を言うこと ☆Unit2 友達と今日の気分を伝え合うこと ★Unit3 英語で「数」をかぞえること ★Unit4 自分が「好きな色や食べ物、スポーツ」を英語で言うこと ★Unit5 友達や先生に「好きなもの」を聞くこと ★Unit6 「アルファベット」の文字を読むこと ★Unit7 いろいろな色や形のカードを集めて、カードを送ること ★Unit8 動物や食べ物について、クイズ大会をすること ★Unit9 絵本「きみはだれ」を聞くこと	★Unit1 世界のあいさつを知り、友達とあいさつをすること ☆Unit2 「天気」について言うこと、「したい遊び」について伝え合うこと ★Unit3 「1週間の予定」や「好きな曜日」について聞き、伝え合うこと ☆Unit4 「時刻」について伝え合うこと ★Unit5 「文房具」や「学校で使うもの」について伝え合うこと ☆Unit6 「アルファベット」の文字を読むこと ★Unit7 野菜や果物のカードをやりとりして、パフェやピザを作ること ★Unit8 「学校の教室や好きな場所」を伝え合うこと ★Unit9 絵本「ぼく・わたしの1日」を聞くこと

◆「英語の学習が好きだ」について強い肯定が減少するのは、教材の一部において話題や活動の設定により、コミュニケーションの楽しさや達成感、相互理解の喜びを得にくくなっていることも一因か。

➡コミュニケーションの目的・場面・状況等を設定し、相手意識・目的意識をもった活動にするなどの工夫が必要

5年生になって、英語の学習で難しくなったこと

5年生になって、英語の授業で難しくなったことを記述で回答。

➡多かった記述は次のとおり

- ・「アルファベットの文字」を読んだり書いたりすることへの負担感
- ・「話すために覚えなければならない」というプレッシャー
- ・「皆の前で話すこと」への苦手意識

◆慣れ親しみ中心の外国語活動から目標到達が明確になる教科に移行すること、初めて読むこと・書くことを扱うことから、児童が学習負担や困難さを感じる場面が生じている可能性がある。

➡5年生の最初の段階では、それまでの外国語活動の経験を生かしながら、円滑に教科学習に移行できるように、**扱う語彙や表現、学習活動が過多にならないような配慮が必要。**

※特に、アルファベットの文字を読んだり書いたりする学習活動は、丁寧に時間をかけて行い、その後小学校卒業までの中で、段階的に読むこと・書くことの活動を行うことが必要。これらの段階的な学習指導について、次期学習指導要領で例示することが必要。